

クロマツ育て、いわきへ

心つなごう
東日本大震災

【さくら】東日本大震災の津波で被災した福島県いわき市の海岸林再生プロジェクトに参加している上松山小で21日、6年生が今年移植するクロマツの苗木を掘り起こす作業を行った。同校は防災教育の一環として、震災翌年の2012年から福島県内外のボランティアなどが支援するいわき市の海岸林再生プロジェクトに参加。毎年、5年生が春に校内の畑にクロマツの苗木を植え、1年半育てて6年生の秋、現地に植え

さくら 上松山小6年生、28日訪問

この日は6年生62人が50〜60センチほどに育った苗木約60本を掘り起こし、土ごとポリエチレンの袋に入れる作業を実施した。28日に6年生全員で現地を訪れ、移植する。支援活動をとりまとめている益子町のNPO法人「トチギ環境未来基地」の担当者によると、プロジェクトでは3万2千本のクロマツの苗木を植えることを目標に、県内からも約60の団体などが参加しており、これまでに約1万5千本を植えたという。

（大滝順朗）



育てたクロマツの苗木を掘り起こす
上松山小の6年生

10月22日（下野新聞）